

事業名	カンボジア王国 小学校体育科教育普及支援事業 (JICA 草の根技術協力事業)
事業分類	スポーツを通じた開発支援事業
協働団体	カンボジア王国 教育・青年・スポーツ省

活動目的

カンボジア教育・青年・スポーツ省、JICA、筑波大学と連携を図り、体育科教育授業の全国的な普及に向けて、2006年から2009年の第1フェーズでは、指導要領の新訂、指導書案の作成を実施、2009年から2012年の第2フェーズでは、5州10小学校及び5教員養成校を拠点校として、基本的な普及基盤を確立してきた。

2013年4月から実施している第3フェーズでは、「カンボジアの小学校体育科教育において、教育・青年・スポーツ省学校体育スポーツ局が自立的に普及できる体制が確立される」ことを事業目標とし、省担当官の増員及び育成、15州(バタンバン州、シムリアップ州、シアヌークビル州、クラチェ州、スヴァイリエン州、バンテアイミンチェイ州、コンポンチュナン州、プレアヴィヒア州、コンポントム州、カンポット州、コッコ州、ラタナキリ州、ストウントレン州、プレイヴェン州、タケオ州)での体育科教育普及、そして教育・青年・スポーツ省が独自に事業成果を継続できる体制作りのための活動を継続している。

活動概要

- JICA 草の根技術協力事業によって以下の活動を実施した。
- 1) 第4地域(バタンバン地域): バタンバン州、バンテアイミンチェイ州、コンポンチュナン州での新体育普及活動(①RT 育成研修、②RTによるバンテアイミンチェイ州、コンポンチュナン州での体育ワークショップ、③バンテアイミンチェイ州、コンポンチュナン州での体育授業モニタリング(3回)、④バンテアイミンチェイ州、コンポンチュナン州での公開授業)(2015年4月～7月)
- 2) 第5地域(シムリアップ地域): シムリアップ州、コンポントム州、プレアヴィヒア州での新体育普及活動(①シムリアップ州において地域トレーナー選出、②コンポントム州、プレアヴィヒア州においての拠点校選出、③RT 育成研修、④RTによるコンポントム州、プレアヴィヒア州での体育ワークショップ、⑤コンポントム州、プレアヴィヒア州での体育授業モニタリング(3回)、⑥コンポントム州、プレアヴィヒア州での公開授業)(2015年7月～2016年1月)
- 3) 第1地域(スヴァイリエン地域): スヴァイリエン州、タケオ州、プレイヴェン州の拠点校、教員養成校を対象とした最終評価を実施(2016年3月)
- 4) NT、15州の州教育局、13州の教員養成校の校長、教員を対象としたコンサルテーション・ミーティングを開催(2015年10月)
- 5) NTが2人1組となり、対象8州の年間モニタリング(2015年4月～2016年3月)
- 6) リズム運動をキャラクター化し、国営放送で放映(月～金、2015年7月から)
- 7) カンボジア教育省主催の年次教育総会にて、事業進捗報告及び提言(2016年3月)
- JICA 草の根技術協力事業以外にも以下の体育科教育活動を実施した。
- 1) コンポントム州、プレアヴィヒア州の拠点校への鉄棒設置、マット配布
- 2) バタンバン州4小学校、スヴァイリエン州2小学校及びシムリアップ州1小学校において教育省主導の運動会の開催



コンポントム州公開授業



コンポントム州体力測定



コンサルテーション・ミーティング

次年度の実施計画

- 2016年度は、JICA 草の根技術協力事業において、第2(クラチェ地域)、第3(シアヌークビル地域)、第4(バタンバン地域)、第5(シムリアップ地域)地域での評価活動を実施する。
- NTの専門家への認定、サブNTのNTへの認定、研究指定校の認定、授業の評価等、筑波大学と連携をし、各種評価表を作成していく。
- 昨年度、教育・青年・スポーツ省が指導書を印刷し、全国の小学校に配布した。体育科教育の更なる普及のために教育省大臣を始めとしたキーパーソンへの働きかけを継続していく。
- 当会が地方出張の際、NTの年間モニタリングの際または青年海外協力隊との連携で体育をさらに普及する。

支援・協力団体

(独法)国際協力機構/JICA、筑波大学、篠山ABCマラソン、親子チャリティーマラソン in おもちゃ王国実行委員会、シーガルズ、エイコースポーツ、チャリティディナー実行委員会、協力小・中・高校、他